

第51回交通史学会（50周年記念）

大会・総会のお知らせ

本年度の大会・総会は、50周年記念大会として、駒澤大学にて開催させていただきます。皆さま、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 程 2025年5月10日（土）、5月11日（日）

会 場 駒澤大学駒沢キャンパス

（〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1）

【電車でのアクセス】

- ・東急田園都市線「駒沢大学」駅を下車、徒歩10分
- ・東急田園都市線「桜新町」駅を下車、徒歩20分

【バスでのアクセス】

- ・「渋谷」駅（JR山手線・東急田園都市線等）より、東急バス「渋82系統 等々力行き（23番乗り場）」から「駒沢」停留所を下車、徒歩1分
- ・「二子玉川」駅（東急田園都市線）より、東急バス「玉12系統 駒沢大学駅行き（1番乗り場）」から「駒沢」停留所を下車

共 催 駒澤史学会

参加費 500円

【大会・総会】

1日目 5月10日（土） 12:30～ 開場・受付開始

・ 総 会 11:30～12:30（3-211 教場）

※総会に参加される方は、総会終了後、受付をお願いいたします

・ 自由論題・第1会場（含質疑応答）（3-207 教場）

13:00～ ①松浦智博氏（三井文庫）

「近世宿駅支配構造に関する素描－近江国湖北・湖東地域を素材に－」

13:30～ ②橘敏夫氏（愛知大学総合郷土研究所研究員）

「庄屋文書を使用した大助村から東海道二川宿への人馬提供数」

14:00～ ③秋山寛行氏（本庄早稲田の杜ミュージアム）

「寛政期関東譜代藩領における大名通行と旅人統制

－中山道高崎・倉賀野宿を事例に－」

14:30～ ④竹内励氏（熊谷市立大麻生中学校）

「近世中期における半年交代の譜代大名の参府と勤役」

15 : 00～ ⑤岡田悠誠氏（京都大学大学院文学研究科（院））
「江戸時代海難事例に見える人的交通障害－瀬戸内の海賊と日本海の寄船－」

15 : 30～ ⑥井手弘人氏（長崎大学）
「明治期における那覇寄留商人と汽船航路
－『沖縄親睦会』の活動にみる近世との連続性」

・自由論題・第2会場（含質疑応答）（3-211 教場）

13 : 00～ ①久保健氏（産業遺産情報センター）
「ドイツ・ザクセン州における狭軌鉄道の今日の役割について」

13 : 30～ ②千原鴻志氏（山梨県立富士山世界遺産センター）
「1920年代における富士山麓周遊の変容
－霊場への非参詣的旅行に交通機関の整備が与えた影響」

14 : 00～ ③志賀祐紀氏（奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究中心）
「明治期日本人女子留学生の船旅－安井てつの欧州航路体験に注目して」

14 : 30～ ④原遼平氏（国立米子工業高等専門学校）
「明治期北陸地方からの旅行－伊勢参宮を中心に－」

15 : 00～ ⑤和栗隆史氏（全国寺社観光協会 国際寺社観光研究所）
「戦時鉄道旅客輸送制限下における青年徒歩旅行
－鉄道局による寺社宿泊所の活用に着目して」

・講演（3-207 教場） 16 : 00～17 : 30

小風秀雅氏（お茶の水女子大学名誉教授、交通史学会会長）
「交通革命と開国・開港」

・懇親会 18 : 00～ 深沢キャンパス小ホール（〒158-0081 東京都世田谷区深沢 6-8-18）
会費 5,500 円（原則事前申込）

2日目 5月11日（日） 9 : 30～ 開場・受付開始

・座談会（3-207 教場） 10 : 00～11 : 30

「交通史を振り返る－未来への期待も込めて－」

波田野富信氏（交通史学会）

平川新氏（東北大学名誉教授、元宮城学院女子大学学長）

渡辺和敏氏（愛知大学名誉教授）

司会 飯塚公藤氏（近畿大学）、鈴木章生氏（目白大学）

・シンポジウム 13:00～17:00

① **観光と交通史** (コーディネーター、平山昇氏 (神奈川大学)) (3-207 教場)

- ・武井謙悟氏 (駒澤大学・仏教経済研究所研究員)
「禅と交通ー近代における大衆と観光を中心としてー」
- ・木村悠之介氏 (東北大学特任研究員)
「神社をめぐる競争・競走・継走ー神奈川県的事例を中心にー」
- ・宮川充史氏 (一宮市博物館)
「明石藩主の道中無礼討ち伝承と史跡整備」
- ・高橋陽一氏 (宮城学院女子大学)
「社会に役立つ交通史研究をめざしてー仙台市の観光戦略と江戸時代の旅ー」

② **外交使節の旅と交通史** (コーディネーター、横山恭子氏) (3-211 教場)

【基調講演】

丸山雍成氏 (九州大学名誉教授)

「日本の国家形成・確立と対外交渉ー中国・朝鮮半島等との関係を中心にー」

- ・轟博志氏 (立命館アジア太平洋大学)
「朝鮮王朝における使行路ー通信使路を中心にー」
- ・関周一氏 (神戸女子大学)
「中世日本を訪れた朝鮮使節」
- ・飯沼雅行氏 (朝日カルチャーセンター講師)
「朝鮮通信使・琉球使節の淀川通航と地域社会」
- ・(コメント) 岡本真氏 (東京大学史料編纂所)
- ・(コメント) 横山恭子氏 (国立富山高等専門学校)

③ **郵便史の現在地** (コーディネーター、山根伸洋氏) (3-210 教場)

- ・山根伸洋氏 (湘南工科大学特任講師)
「趣旨説明・郵便史の広がりをめぐるー近代史へ郵便創業を埋め戻すー」
- ・板橋祐己氏 (東京医療保健大学・郵便史研究会)
「郵趣が記録した日本郵便史一切手収集を超えた探究の広がり」
- ・巻島隆氏 (伊勢崎市史編纂専門委員会近世部会専門委員)
「飛脚が伝えた嘉永7年東南海大地震情報の検討」
- ・玉井幹司氏 (物流博物館主任学芸員・「駅通志料」を読む会)・城戸淳子氏 (「駅通志料」を読む会)
「飛脚問屋から運送会社への移行に関する一試論ー輸送ネットワーク復元の試みを中心にー」
- ・望月みわ氏 (京都大学・日本学術振興会特別研究員 (PD))
「郵便史から考える帝国日本」
- ・田原啓祐氏 (郵政博物館主席学芸員)
「郵政博物館の現在地」

※参加を希望される方は、下記の学会事務局のメールアドレスに、**5月2日(金)**までお申込みください。郵送でも可能です。

※大会の報告は、後日動画で配信する予定ですが、機器の不調・故障等により、掲載できない可能性もございます。この点、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



駒沢キャンパスの入退構につきまして、以下注意点がございます。

- ・大会1日目(5月10日・土)、北門は14時まで入構のみ、14時から19時までは退構のみの一方通行となります。14時以前の退構、14時以降の入構は正門をご利用ください。
- ・大会2日目(5月11日・日)は、終日にわたって正門からの入退構となります

交通史学会事務局

〒〒992-0025 山形県米沢市通町 6-15-1

山形県立米沢女子短期大学・日本史学科・原研究室

e-mail: jshtc@kotsushi.org

jshtc-events@kotsushi.org